



5月 院内感染対策ニュース

2025年
5月第27号

毎年5月5日は手指衛生の日です

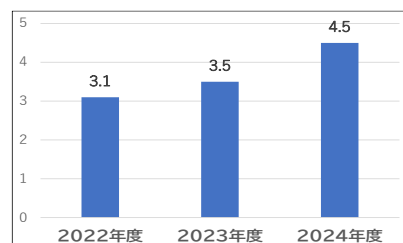
WHO（世界保健機関）の「Clean Care is Safer Care（衛生的なケアは安全なケア）」プログラムにおける「SAVE LIVES: Clean Your Hands（命を救う：あなたの手指衛生）」では、5月5日を「手指衛生の日」として、感染対策の基本である手指衛生に関する世界的キャンペーンが展開されています。

5月5日は両手の5本指を表し「5」月「5」日に由来しています。

2025年のWHOのテーマは「手袋は 必要な時もある でも いつも必要なのは 手指衛生」です。

手袋は手指衛生の代わりにはなりません。手を守る役割がある一方、汚染源にもなります。適切な手袋の使用と手指衛生の徹底で、感染予防に努めましょう。

当院の手指衛生の現状ですが、患者・利用者1人1日の手指消毒剤の使用量は2024年度は**4.5ml**です。2022年度の3.1mlと比較して1.5倍に徐々に増加しています。しかし、WHOは医療現場における手指消毒剤の使用量の目安を、**1人の患者あたり1日20ml**としており、まだまだ低い状況です。



そのため、当院でも、各部署で手指衛生を適切な場面で、正しい方法で行うために、目標を立案し活動をしていきます。私達医療者自身の身を守り、また、医療者として患者・利用者様を守るために、手指衛生を始めとする感染予防に努めていきます。



部署	目標	評価方法
1階	「一行為前後の手指衛生」 患者様に触れる前後の手指衛生のこと	アンケートによる自己評価
2階	「5つのタイミングで正しい手指消毒を行う」	委員による直接観察
3階	「利用者様に触れるタイミングで手指衛生を実施」	委員による直接観察
4階	「職員1人の1カ月間のテピカジェル使用量 1000ml 目指します」	使用量調査
薬剤室	「剤室出入り口と調剤室の手指消毒剤の使用量測定」	毎週水曜日測定評価
外来	「1患者1手洗い」	自己評価